

## 【樹木・草花の部屋】

### エンゼルトランペット (ナス科キダチチョウセンアサガオ属 Brugmansia)

**和名**；エンゼルトランペット **別名**；キダチチョウセンアサガオ、ダチュラ、ダツラ  
ナス目 常緑低高木

**原産地**；中南米、インド

**花言葉**；愛敬、偽りの魅力、変装、愛嬌

**花の色**；白・桃・青紫・黄



⇒ 写真－1 エンゼルトランペット

撮影日：2002年10月20日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん

(1)、(2)ともに、家内が友人から譲り受けたもの。地植えにするとかなり樹高が高くなりました。結構、スペースを取られるので、現在は伐採。根も堀上、後にトルコキキョウが花をつけています。

写真－2 エンゼルトランペットの花 ⇒

撮影日：2004年7月8日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん

春から秋にかけて、下向きに垂れ下がり、花卉の先端は、5つに分かれ反り返る花をつけます。つぼみには卵形、球形、紡錘形などがあるようです。我が家は紡錘形でした。原産地はアメリカの熱帯地方ですが、暑さが苦手な高地にしか生息していないそうです。そのため日本では、夏季の生育が緩慢になり、管理を怠ると最悪枯れてしまう場合もあるそうです。



## 【樹木・草花の部屋】

天使のトランペットと名づけられていますますが本当に天国に行く植物。猛毒につき栽培注意！（子供など口にしないように）

耐暑性はあるようですが耐寒性は劣るようです。大和郡山あたりでは霜に合わなければ枯れるまでには至らないようです。我が家では毎年、大型ビニールの袋かけで越冬してきました。寒さには弱いようですから、基本的には要注意。

猛毒植物とは露知らず、素手で触っていました。知らないことほど怖い物無。いまは廃棄して良かったと・・・。花言葉の「偽りの魅力」、なにか領けられる気もします。

<ちょっと一言>

かつてはキダチチョウセンアサガオ属 (Brugmansia、ブルグマンシア)はチョウセンアサガオ属 (Datura、ダチュラ)に含まれていたそうですが、現在は別属として扱われています。別名、ダチュラやダツラはこの名残。

両属の違いは以下の通り。

キダチチョウセンアサガオ属； 高木または低木で、下向きの花をつける。

チョウセンアサガオ属； 一年草または多年草で、上向きの花をつける。

キダチチョウセンアサガオ属の植物は有毒植物で、含まれている成分はスコポラミン（ヒヨスチン）、ヒヨスチアミンなど。薬草に使われることもあるが、一般には毒草として扱われるので、取り扱いには要注意。